

2013 年度第 1 回理事会議事録

2013 年 5 月 31 日

公益財団法人政治経済研究所

1. 日時 2013年5月31日 16～19時
2. 場所 公益財団法人政治経済研究所(東京都江東区北砂 1-5-4) 1F 会議室
3. 出席者
理事：山口孝 金光奎 北村実 小宮昌平 齋藤 壽彦 杉山英夫 山辺昌彦 渡辺貢
(理事9名中8名出席 1名欠席)
監事：鶴田満彦(2名中1名出席 1名欠席)
オブザーバー(1名出席)：菅隆徳(顧問税理士)
4. 議事の経過及び結果
定款第40条及び理事会運営規則第6条により、山口孝代表理事・理事長を議長として次の報告事項と議題について逐次審議した。

I 事務局説明

- ・山口理事長より、事務局に対して定足数の確認と配付資料等についての説明が求められた。
- ・事務局より、定足数を満たしたと配付資料について説明がなされたのち、次の2点について説明がなされた。
 - ①改正中の「会員に関する規程」について評議員会決議事項と説明してきたが、これは事務局の誤りで、「規程」第9条に理事会決議事項であることが明記されていることが指摘され、これまでの説明を訂正したい旨が述べられた。
 - ②理事の任期満了にともない代表理事の任期も終わり、新しい代表理事が選任されるまで代表権のない空白期間ができると説明してきたが、法人法第79条第1項には新しい代表理事が就任するまで現代表理事の権利義務は継続する旨が記されており、空白期間ができるとした説明を訂正したい旨が述べられた。
- ・山口理事長より、理事会運営規則第12条の議事関係者として顧問税理士が出席していることが説明された。

II 前回議事録の確認と議事録署名人の選任

- ・議事録署名人として小宮昌平、山辺昌彦の2名が選任された。
- ・前回までに確認できなかった2012年度第7回議事録と今回提出された第9回議事録の確認が行われ、承認された。

III 報告事項

- ・山口理事長より、決議・承認事項が多くあるので報告事項は省略したい旨が述べられ、了承された。

IV 審議事項



議題1 定期提出書類（2012年度事業報告書ならびに決算書）について

- ・山口理事長より、事業報告書の「概況」「公益目的事業1」「業務管理」について事務局に、「公益目的事業2」について山辺理事に説明が求められた。
- ・事務局ならびに山辺理事より事業報告書の内容について詳細な説明がなされた。
- ・決算書については山口理事長および事務局会計担当者によって詳細な説明がなされた。
- ・討議の結果、事業報告書の欠落個所の修正を条件として事業報告書、決算書ともに全会一致で承認された。
- ・山口理事長より、法人法123～126条により理事会の承認を経たので定時評議員会で承認を得べく報告する旨が告げられ、事務局に対して至急承認条件の箇所を修正し、法人法129条の通り事務所に備え置き公開するよう命じた。
- ・渡辺理事より、受託事業は事業報告書では何処に入るのかという質問がなされた。
- ・山辺理事より、2012年度は受託事業はなかったことが述べられた。
- ・事務局より、公益目的事業に入れるか収益事業等に入れるかは当法人の事業の括りの問題であるが、公益移行認定申請時に公益目的事業の中に括り申請して認可された。申請時に内閣府の担当者より会議で説明するので1時間ぐらいで説明文を書いてくれと言われ、当法人の受託事業は単なる行政事業の肩代わりではなく調査研究事業であり、その成果は委託者のみならず広く社会に影響を与えることを第1回経済白書やいくつかの受託事業の成果を中心に記述して提出したことが説明された。

議題2 監事監査報告について

- ・鶴田監事より会計監査については会計帳簿および会計報告は適正であること、業務監査については定款に基づき適正に業務が行われたことを確認したとの報告がなされた。その上で次のような所見が述べられた。

財務状況は昨年度（2011年度）との比較で劇的に改善された。その要因として公益法人化にともなう租税公課の減少、資料センターの寄付金の伸びを指摘することができ、今後も公益法人化にともなうメリットを活かす法人運営が必要である。心配な面として、収益事業の家賃収入はやや改善されたが、マンションの老朽化にともなう修繕費が大きすぎる。老朽化したマンションなのでやむを得ない側面もあるが、修繕費は理事会でもう少し吟味する必要がある。
- ・山口理事長より、業者の入札など新しい試みをし、修繕費削減には努力してきたが、監事監査の報告を受け、改めて注意してやっていきたい旨が述べられた。

議題3 「会員に関する規程」「寄付金取扱規程」について

- ・事務局より、当法人の会員は社団法人の社員などとは異なり、当法人のサポーターであることが説明された。
- ・サポーターに対する会員サービスはどうあるべきかを中心に討議が行われたが、政治経済研究所維持会員費の額の設定、新たに設置する維持募金等の概要も含め継続審議にす

ることが決定した。

議題4 理事改選について

- ・山口理事長より、評議員会の日時・場所・会議の目的事項は理事会で決議することになっており、議案の概要を審議したい旨が述べられた。
- ・審議は法人の組織設計の観点からすすめられ、審議の結果、理事候補者候補も含め、理事選任に関する評議員会の議案の概要が決議された。
- ・山口理事長より、理事は評議員会の決議によって選任されるので、理事会で決議された議案の概要を評議員会に報告し、審議してもらう旨が述べられた。

議題5 『政経研究』編集委員長の承認及び新編集委員・顧問について

- ・斉藤理事より、新編集委員、顧問について説明がなされたのち、編集委員長については理事会の承認が必要である旨が説明された。
- ・討議の結果、斉藤寿彦理事の編集委員長への選任は承認された。
- ・山口理事長より、理事会として編集委員および編集顧問についての報告を受け、編集委員長選任について承認したことが確認された。

議題6 2013年度研究費配賦について

- ・小宮理事より、液化化のプロジェクト研究が3年間総額480万円の科学研究費の助成を受けることが報告された。科学研究費を受けるあたり、研究所の研究費配賦が先行研究になっていたの、今年度の研究費配賦も科学研究費や他の外部資金導入を前提にした配賦の在り方も考える必要があるという意見が述べられた。
- ・山辺理事より、今年度の研究費配賦の募集はいつ行うのかという質問がなされた。
- ・小宮理事より、少し遅れているが例年通りやる予定である旨が説明された。
- ・山口理事長より研究員の推薦の問題に移りたい旨が述べられた。
- ・小宮理事より、主任研究員の合田寛氏より推薦がある森史朗氏について説明がなされた。
- ・討議の結果、主任研究員として採用することが決議された。

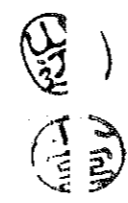
以上により本日の議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長並びに議事録署名人および出席監事は押印する。

議長 代表理事・理事長
議事録署名人
出席監事

2013年5月3日

山口 孝
小宮 昌平
山辺 昌彦
鶴田 満彦



2013 年度第 2 回理事会議事録

2013 年 6 月 22 日

公益財団法人政治経済研究所

1. 日時 2013年6月22日 12時～13時30分

2. 場所 公益財団法人政治経済研究所(東京都江東区北砂1-5-4)1F 会議室

3. 出席者

理事：勝又信夫 金光奎 小宮昌平 齊藤壽彦 杉山英夫 山辺昌彦 渡辺貢

(理事9名中7名出席 2名欠席)

監事：鶴田満彦 河野先(2名中2名出席)

4. 議事の経過及び結果

山口理事長・代表理事が欠席のため、定款第40条第2項の「代表理事に事故ある場合は、業務執行理事がこれに当たる。」の規定により、小宮昌平業務執行理事を議長として次の報告事項と議題について逐次審議した。

I 事務局説明

- ・小宮理事より、事務局に対して定足数の確認と配付資料等についての説明が求められた。
- ・事務局より、定足数を満たしたと配付資料について説明がなされた。

II 前回議事録の確認と議事録署名人の選任

- ・議事録署名人として金光奎、渡辺貢の2名が選任された。
- ・前回(2013年度第1回)議事録の確認が行われ、承認された。

III 報告事項

- ・小宮理事より、評議員会の進行を準備するための会議であり、報告事項は省略したい旨が述べられ、了承された。

IV 審議事項

議題1 評議員会の進行について

- ・小宮理事より、評議員会での議案概要について各理事、監事、事務局の説明箇所が示され、了承された。

議題2 理事の任期確認について

- ・事務局より、理事の任期は2年という確定期間ではなく、その間に終了する最終事業年度を終結させる評議員会まで、つまり2012年度を終結させる今回の評議員会までであることが説明された。

議題3 新理事会の召集日程について

- ・鶴田監事より、評議員会(新理事選任)直後に開催するのではないのかという指摘がなされた。
- ・事務局より、日程が決まっていない旨が説明された。



- ・出席各理事より、評議員会で理事選任後できるだけ早く理事会を開催すべきである旨が述べられ、事務局の方で至急山口代表理事に連絡を取り理事会開催日時等を相談することに決定した。
- ・鶴田監事より、新しい代表理事が決まるまでについて事務局に説明を求めた。
- ・事務局より、法人の代表権の空白を作らないため、法人法第79条に新しい代表理事が就任するまで現代表理事の権利義務は継続する旨が記されていることが説明された。
- ・鶴田監事より、業務執行理事についてはどうかという質問がなされた。
- ・事務局より、法人法第79条の規定は代表理事に関してであり、業務執行理事については規定されていないように思う旨が述べられた。

議案4 その他

- ・山辺理事より、ネガの保存を中心とする収蔵のあり方について説明がなされた。
- ・小宮理事より、ネガの保存は重要な問題であり、本格的な収蔵のあり方を検討すべきである旨が述べられた。
- ・事務局より、科研費を取ったプロジェクトのこともあり、学芸員室、東中研の部屋の利用方法について提案がなされ、承認された。

以上により本日の議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長並びに議事録署名人および出席監事は押印する。

2013年6月22日

議長 業務執行理事 小宮昌平

議事録署名人 金光奎

渡辺貢

出席監事 鶴田満彦

河野先



2013年度 第3回理事会議事録

2013年7月3日

公益財団法人 政治経済研究所

日 時 2013年7月3日 16時30分～19時00分

場 所 公益財団法人政治経済研究所(東京都江東区北砂1-5-4)

出席者 理事：山口孝 齊藤壽彦 山辺昌彦 勝又信夫 金光奎 北村浩

岩見良太郎 渡辺新 (理事9名中8名出席1名欠席)

監事：鶴田満彦 河野先 (2名中2名出席)

オブザーバー 菅隆徳(顧問税理士)

1. 事務局説明

(1) 定足数の確認と開会

・事務局より、9名中8名の出席で定足数を満たしたことが確認され、開会が告げられた。

(2) 理事会招集者ならびに議長についての説明

・事務局より、法人法第79条に新しい代表理事が就任するまで現代表理事の権利義務は継続する旨が記されており、本日の会議招集者は山口前代表理事であり、新しい代表理事が選任されるまで議事の進行を行うことが説明された。

(3) 資料説明

・事務局より、配付された会議資料の説明と確認が行われた。

2. 招集者挨拶ならびに理事会の状況説明

・山口前代表理事より、招集者として挨拶が述べられたあと、これまでの理事会の運営状況について説明がなされた。

3. 役員紹介

・山口前代表理事の進行で役員が1人ずつ紹介された。

・事務局より、理事就任に際しての注意事項として、①任期、②法人第65条で定められた役員の資格等、③認定法第5条の認定基準、④認定法第6条の欠格事由、⑤理事の権限、⑥法人法第83条の忠実義務、民法上の善管注意義務、⑦法人法で定められた損害賠償責任について説明がなされた。

4. 審議事項

議題1 代表理事・業務執行理事の選任

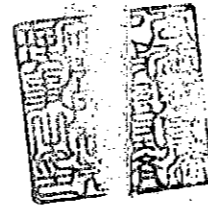
・山口前代表理事より、法定されている代表理事と業務執行理事を選任したいが、定款第28条に理事会の決議によって理事の中から選出することが記されていることが説明された。

・事務局より、補足として、定款第28条には「理事のうち1名を理事長とする。」「理事長をもって……法律上の代表理事とし、代表理事以外の理事のうち2名を業務執行理事とする。」となっていることが説明された。

・討議の結果、全会一致で代表理事・理事長に山口孝理事を、業務執行理事に山辺昌彦理事、渡辺新理事を決議した。なお、被選任者は席上、就任を承諾した。

・定款第40条の規定により、以下の議事進行は山口理事長が当たることになった。

・山口理事長より、法人内の各分野について各理事の役割分担を決めたい旨が述べられ、



研究分野を岩見理事、合田理事、大島社会文化研究室を北村理事、東京中小企業研究室を金光理事、戦災資料センターを山辺理事、財務と収益事業を勝又理事、『政経研究』を齊藤理事、事務局長として渡辺理事を当てたい旨が説明された。

- ・鶴田監事より、定款上に重要な職員という規定はあるが事務局長の規定はないことが指摘された。
- ・事務局より、法律用語の重要な使用人を定款では重要な職員と記しており、一般には事務局長や管理職をここに適用しているようである。ただし、鶴田監事が言うとおりに、これまで事務局長を正式に置いていなかったこともあって事務局長の職務権限が定められていないことが説明された。
- ・勝又理事より、渡辺理事に実質事務局長的な仕事をしてもらい、規程がないなら通称事務局長で良いのではないかという意見がだされ、了承された。
- ・山辺理事より、研究委員会の招集者は誰になるのかと質問がなされた。
- ・山口理事長より、鶴田監事が良い旨が述べられた。
- ・鶴田監事より、監事という立場上業務執行機関には関わるべきではない旨が述べられた。
- ・渡辺理事より、岩見理事が最適である。ただし、一度にすべて押しつけるのは問題があるので馴れるまで全員で手伝っていかなければならない。また、法人全体の業務を円滑にするためにも各種委員会等、業務執行補助機関がしっかり機能しなければならない旨が述べられた。
- ・討議の結果、山口理事長が提案した各理事の役割分担は承認された。
- ・鶴田監事より、会長ならびに相談役はどうなるのか質問がなされた。
- ・山口理事長より、理事を退任された小宮昌平氏、渡辺貢氏、北村実氏、杉山英夫氏の4名を相談役にしたい。現会長と相談役も引き続き会長、相談役に就任してもらいたい旨が述べられた。
- ・事務局より、定款第35条の会長及び相談役の条文が説明された。
- ・鶴田監事より、委嘱するのは理事会であり、その理事会が新しくなったので現会長、現相談役も改めて任期2年の委嘱を新たにし直した方が良いのではないかという意見がだされた。
- ・山口理事長より、新相談役と同じく、現会長、現相談役にも改めて委嘱したい旨が述べられ、全会一致で承認された。

5. 議事録署名人の選任ならびに前回議事録の確認

- ・議事録署名人として勝又信夫、金光奎の2名が選任された。
- ・前回議事録について確認が行われ承認された。

6. 報告事項

(1) 研究所の維持会員・研究会員の状況

- ・山口理事長より、会費の入金状況が説明された。

(2) 刊行物について

- ①『政経研究』



・齊藤理事より、刊行、編集状況が説明された。

②『政経研究時報』

・事務局より、公開研究会の内容を全文掲載したらどうか、前から懸案になっている新しい編集体制をつくらなければならないことが指摘された。

③リサーチペーパー

・事務局より、現在刊行の予定はないことが説明された。

④『中小企業問題』

・金光理事より、編集、発行状況が説明されたのち、当法人のホームページ上に載せたい旨が述べられた。

・事務局より、ホームページへの掲載は前からお願いしていることであるので、是非実現できるようにしたい旨が述べられた。

⑤企画出版

・事務局より、小宮昌平氏が作成した資料をもとに説明があり、岩波書店からのマディソンの翻訳出版が正式に決まり、編集がすすんでいる旨が説明された。

(3) 公開研究会、所内研究会

・山口理事長より、現在予定はないが徐々に企画していかねばならない旨が報告された。

(4) 各研究室・研究会の動向

・山口理事長より、それぞれの動きの情報を事務局や研究担当理事にあげて欲しい旨が述べられた。

(5) 東京大空襲・戦災資料センターの運営状況

・山辺理事より、7月9日に開催される運営委員会の資料をもとに詳細な報告がなされた。

7. 審議事項

議題2 継続審議事項について

・事務局より、継続中の主な事項としては、①会員規程、寄付金規程の改正、②研究室の再編等機関整備の問題があり、これまでの議論の概要が説明された。

・山口理事長より、新しい理事会によって今後本格的に議論したい旨が述べられた。

議題3 2013年度研究費支出について

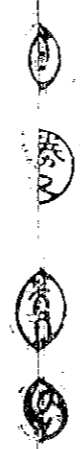
・事務局より、募集要項が提示され、既に募集がはじまっていることが説明された。

・山口理事長より、研究期間が始まる8月1日以前に研究委員会を開きたい。時間的制約から、理事会として内容の決定については研究委員会に委任をしたい旨が述べられ、了承された。

議題4 収益事業について

・事務局より、現在の空き室状況の報告ののち、目白台芙蓉ハイツにおける排水管工事の内容と見積書について説明がなされた。

・山口理事長より、今後大改修や建て替え等起こりうる問題について十分な検討を行う体



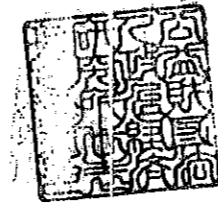
制をつくらなければならないことが述べられた。

議題5 その他

- ・勝又理事より、理事会開催日を定例化してもらいたい旨が述べられ、討議の結果、原則第3水曜日、16時からに決定した。
- ・事務局より、理事会は毎月開催するのかどうか確認したい旨が述べられた。
- ・山口理事長より、課題が多く、当分の間は毎月開催したい旨が述べられた。
- ・事務局より研究委員会の日程も決めて欲しい旨が述べられた。
- ・日程調整の後、7月16日18時からに決定した。
- ・山口理事長より、研究員交流会を開催しなければならない旨が述べられ、検討課題として設定された。

以上で本日の議事を終了、議長は閉会を宣言した。

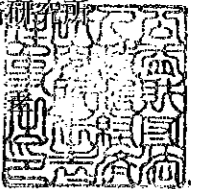
上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長並びに議事録署名人および出席監事は押印する。



2013年7月3日

公益財団法人政治経済研究所

議長 山口



署名人 金光 奎



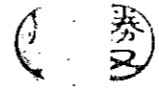
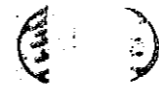
勝又信夫



監事 佐島田 満



監事 河野 光



2013年度 第4回理事会議事録

2013年8月21日

公益財団法人 政治経済研究所

1. 日 時 2013年8月21日 16時～19時
2. 場 所 公益財団法人政治経済研究所(東京都江東区北砂1-5-4)
3. 出席者 理事：山口孝 岩見良太郎 北村浩 合田寛 山辺昌彦 勝又信夫 金光奎
齋藤壽彦 渡辺新
(理事9名中9名出席)
監事：鶴田満彦 河野先 (2名中2名出席)
オブザーバー：菅隆徳 長谷川元彦

4. 開会

- ・事務局より、定足数の確認と資料の説明が行われた。

5. 代表理事所信表明

- ・山口理事長より、代表理事としての所信表明が行われた。

6. 議事の経過及び結果

- ・定款第40条及び理事会運営規則第6条により、代表理事である山口孝理事長を議長として次の議案について逐次審議した。

(1)議事録署名人の選任

- ・審議に先立ち、議事録署名人として齋藤壽彦氏、勝又信夫氏が選任された。

(2)報告事項

①研究所の維持会員・研究会員の状況について

- ・山口理事長より、維持会員・研究会員についての状況が説明された。

②刊行物について

『政経研究』について

- ・齋藤理事より、第101号の編集状況、特集企画として現代の貧困の問題の準備、ホームページ上で本誌をPDFファイルで公開していくことが説明された。
- ・事務局より、リポジトリと著作権の問題が説明された。
- ・山口理事長より、著作権などの手続き上の問題をもう少し調べるよう指示がなされた。

『政経研究時報』について

- ・山口理事長より政経研究時報の編集責任者を決めなければならない旨が述べられた。
- ・討議の結果、政経研究時報の編集責任者は北村理事に決定した。

『中小企業問題』

- ・金光理事より、第140号が編集中であることが説明された。

企画出版

- ・山口理事長より、企画出版としてマディソンの翻訳が岩波書店で行われていることが説明された。

③各研究室、研究会、プロジェクトの動向

- ・山口理事長より、現在把握している動向が説明された。
- ・事務局より、研究費配付にあたり研究動向を提出するような義務付文書を作成したらど

うかという提案がなされた。

- ・岩見理事より、科研費チームの状況が説明された。

④東京大空襲・戦災資料センターについて

- ・山辺理事より、来館者・維持会費・維持募金・協力費・資料の寄贈と提供・研究活動の状況が説明された。また、業務執行理事としての業務執行報告が提出された。

⑤その他

- ・事務局より、ギガビット対応の光回線の導入が準備されていることが説明された。
- ・山口議長より顧問税理士が年内で菅隆徳氏から長谷川元彦氏へ代わることが説明され、両氏の挨拶が行われた。

(3)審議事項

①第1号議題 研究委員会について

- ・岩見理事より、研究委員会に委任されていた2013年度の研究費配賦が決定したことが説明され、了承された。
- ・鶴田監事より、「配賦」より「配分」にしたかどうかということが述べられ、来年度から「配分」にすることが決定した。
- ・岩見理事より、研究員候補として高野宏康氏、本庄十喜氏が提案された。
- ・討議の結果、両氏を研究員として採用することを決定した。
- ・岩見理事より、研究活動を活発にしていくことと機関整備をどう統一して行っていくか、研究委員会の役割を検討していることが説明された。

②第2号議題 機関整備について

- ・山口理事長より、「4号機関」とは何かについて事務局に説明を求めた。
- ・事務局より、科研費取扱規程と公益法人、学術研究機関との関係が説明された。
- ・山口理事長より、戦災資料センターの方は博物館機能だけではなく、研究機能を強化する組織整備をするべきである旨が述べられた。全体的に4号機関整備は問題定期して受け止め、今後の検討課題としていきたい旨が述べられた。

- ・山口理事長より、公開研究会、所内研究会については研究委員会小委員会などで検討し理事会へあげてくるようにしたらどうか、所内研究会をどう位置づけたら良いのかが述べられた。

- ・岩見理事より、所内研究会で研究費の成果報告をするのも一つのあり方かと思う旨が述べられた。

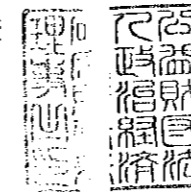
③第3号議題 会員規程について

- ・山口理事長より、この案件は継続審議になっている問題であることが説明された。
- ・事務局より、寄附金扱いするための改正であるが、そのぶん会員サービスに制約がでる。民間非営利組織における会員制度と会員サービスをもう一度検討して欲しい旨が述べられた。

山口理事長より、今後の検討課題としたい旨が述べられた。

④第4号議題 収益事業について

- ・事務局より現在の空き室状況が説明された。
- ・勝又理事より、不動産屋などを含め、経営のあり方を再検討する必要がある旨が述べら



れた。

・山口理事長より、今後の検討課題としたい旨が述べられた。

⑤第5号議題 その他

・事務局より、内閣府「公益法人の自己規律について」説明がなされた。

次回の第5回理事会は9月18日(水)、16時から開催ということが決定した。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長並びに議事録署名人および出席監事は押印する。

2013年8月21日

公益財団法人政治経済研究所

議長 山口 孝



署名人 勝又信夫



齊藤壽彦



出席監事 河野 先



鶴田満彦



2013年度 第5回理事会議事録

2013年9月18日

公益財団法人 政治経済研究所



1. 日 時 2013年9月18日 16時15分～19時
2. 場 所 公益財団法人政治経済研究所(東京都江東区北砂1-5-4)
3. 出席者 理事：山口孝 岩見良太郎 北村浩 合田寛 山辺昌彦 勝又信夫 金光奎
齊藤壽彦 渡辺新
(理事9名中9名出席)
監事：鶴田満彦 河野先 (2名中2名出席)
オブザーバー：菅隆徳 長谷川元彦

I. 開会

- ・事務局より、理事9名中9名が出席し、定足数を満たしたことが確認され、開会が宣言された後に資料の説明が行われた。

II. 代表理事・理事長挨拶。

- ・山口理事長より、挨拶が行われた。
- ・定款第40条及び理事会運営規則第6条により、代表理事である山口孝理事長を議長として次の議案について逐次審議した。

III. 議事録署名人の選任と前回議事録の確認

- ・審議に先立ち、議事録署名人として金光奎氏、山辺昌彦氏が選任された。
- ・前回議事録は誤字脱字等訂正の上承認された。

IV. 報告事項

1. 事業

(1)公益目的事業

①刊行物について

a『政経研究』について

- ・齊藤理事より、第101号の編集状況ならびに新たな特集として「現代の貧困」が準備されていることが説明された。
- ・山口理事長より、アベノミックスの結果がでてくる時期なので、是非それに対する分析を続けてもらいたい旨が述べられた。
- ・齊藤理事より、税金の問題で顧問税理士の菅氏に原稿依頼をだしたことが報告された。

b『政経研究時報』について

- ・北村理事より、編集体制等が代わったために発行が遅れていたが、今年度第1号を今秋を目処に発行する予定であること、掲載予定原稿の概要が説明された。

cリサーチペーパーについて

- ・山口理事長より、リサーチペーパーの発刊時期や年間の発刊数等の確認なされた。
- ・事務局より、特定の時期、発刊数は決まっていない旨が説明された。



・齊藤理事より、リサーチペーパーというのは臨機にだすところに意味がある旨が述べられた。

d 『中小企業問題』

・金光理事より、第 140 号の内容について説明がなされ、9 月末には発行予定である旨が説明された。

e 企画出版

・合田理事より、マディソンの翻訳本企画の進捗状況について説明がなされた。

②公開研究会・所内研究について

・合田理事より、研究委員会での討議によって齊藤壽彦氏に国債問題でお願いすることに決定した。開催日は 11 月 21 日を予定している旨が説明された。

③各研究会、研究室、プロジェクト及び各研究員の研究状況

・山口理事長より、所内研究会についてもこちらで活動状況を十分に把握できるようにしなければならないことが述べられた。

(2) 東京大空襲・戦災資料センターの運営状況について

・山辺理事より、来館者・維持会費・維持募金・協力費・資料の寄贈と提供・研究活動の状況、HP担当者の交代等が説明された。

・山口理事長より、昨年度と比べると入館者数が減っていることが気になることの指摘がなされた。

・山辺理事より、これから修学旅行の季節を迎え頑張りたい旨が述べられた。

(3) 収益事業等

①収益事業

山口理事長より、現在の空室状況について事務局に説明を求めた。

・事務局より、現在の空室状況ならびに更新料についての説明がなされた。

・勝又理事より、契約がなされていてもその契約を見直して更新料をとらないのが現在の流れであることが指摘された。

・山口理事長より、収益事業は不動産屋の問題を根本的に考えなくてはならない、収益事業問題の抜本的解決のための会議を開きたい旨が説明された。

②その他の事業(現在無し)

2. 法人の業務管理

(1) 研究所の維持会員・研究会員の状況について

・山口理事長より、維持会員・研究会員についての状況が説明された。

・事務局より、賛助会員の状況がまったくつかめない旨が指摘され、東京中小企業問題研究室は年末までに資料を提出して欲しい旨が述べられた。

(2) 財政状況について

・山口理事長より、財政問題については、次回理事会で9月決算、上半期決算をだす予定である旨が述べられた。

(3) IT 関連について

開
議
事
務
局
長

- ①ギガビット光回線導入と所内 LAN 配線の完了について
- ・事務局より、au の下り 1 ギガビットの光回線導入とギガビット対応の所内 LAN 配線の完了が説明された。
- ②同報メールソフト導入について
- ・事務局より同報メールソフトを導入し、その設定が完了した、これによって、メールニュースや研究会の案内等いつでも事務局レベルで送信することができるようになった。配信システムや業者を使うものではなく、ソフトによるものでランニングコストがかからない旨が説明された。
- ③ XP パソコンについて
- ・事務局より、まもなく Windows XP のサポートが打ち切られるが、『政経研究』編集に使用しているパソコンが XP である。マシン自体が古いので、OS を入れ替えるだけではなく少しスペックの高いパソコンに買い換えたい旨が述べられた。
- ・山口理事長より、詳しいことはよく分からないが購入する方向で検討する旨が述べられた。
- ・齊藤理事より、千葉商科大学経済研究所が発行する学術雑誌の制作を政経研に委託したい旨が述べられた。
- ・山口理事長より、良い話であり今後検討したい旨が述べられた。
- ⑤理事会 observer について
- ・山口理事長より、新しい顧問税理士の長谷川氏を理事会 observer に位置づけたい旨が提案された。
- ・事務局より、顧問税理士として随時出席してもらう。理事会構成員ではないので議決権は認められないが発言権は認めるという理解が良いのかとの確認がなされ、observer として承認された。

V. 審議事項

1. 議題 1

(1) 研究委員会の活動について

① 2012 年度研究成果報告書について

- ・岩見理事より、2012 年度の研究成果報告書が 9 件提出されており、研究委員会で審議した結果それぞれ研究成果がでていと判断したことが報告された。
- ・討議の結果、全会一致で 9 件の研究成果報告書は承認された。

② 研究委員会のあり方について

- ・岩見理事より、山口理事長から理事会と重なる部分が多いので、研究委員会に必要なのかという発言を受けたが研究委員会で十分詰め切れていない。研究小委員会では研究事業を一元的に運営するには運営組織が必要であり、研究事業を戦略的に企画する組織、それを研究委員会が担わなければならないのではないかという意見がでていることが説明された。研究委員会のあり方や役割については、10 月 8 日に研究委員会で話し合うのでその結果がでてから報告したい旨が述べられた。
- ・山口理事長より、新理事会は研究者が多いので理事会と重なっている部分が多いという

ことで発言した。岩見理事の話では研究委員会、小委員会とも活発に活動している様子なのでそれはそれで良いという旨の発言がなされた。

2. 議題2 機関整備について

- ・山口理事長より、議題の趣旨を説明するように事務局に求めた。
- ・研究員、研究室の問題は研究所が元々抱えている問題であるが科研費取扱規程における「4号機関」として整備する方向性を考えなければならない旨が説明された。
- ・岩見理事より、機関整備をどこがやるかが重要である。研究委員会がやるのか理事会でやるのかが決まらないから中途半端なものになっていることが指摘された。

3. 議題3 会員規程、寄附金規程について

- ・山口理事長より継続審議中である会員規程寄附金規程について検討したい旨が述べられた。
- ・討議の結果、政経研維持会員の会費金額を法人・団体は1口5万円以上、個人会員は1口1万円以上とすることで議決された。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長並びに議事録署名人および出席監事は押印する。

2013年9月18日

公益財団法人政治経済研究所

議長 山口 孝



署名人 金光 奎



山辺昌彦



出席監事 河野 先



鶴田満彦



2013 年度第 6 回理事会議事録

2013 年 10 月 16 日

公益財団法人政治経済研究所

1. 日時 2013年10月16日16時分～18時30分
2. 場所 公益財団法人政治経済研究所 1F 会議室
3. 住所 東京都江東区北砂1-5-4)
4. 出席者 理事：山口孝 岩見良太郎 勝又信夫 金光奎 北村浩 合田寛 齋藤壽彦
渡辺新（理事9名中8名出席）
監事：河野先 鶴田満彦（2名中2名出席）

I. 開会

- ・事務局より、理事9名中8名が出席し、定足数を満たしたことが確認され、開会が宣言された後に資料の説明が行われた。

II. 代表理事・理事長挨拶

- ・山口理事長より、挨拶が行われた。
- ・定款第40条及び理事会運営規則第6条により、代表理事である山口孝理事長を議長として次の議案について逐次審議した。



- III. 議事録署名人の選任と前回議事録の確認
審議に先立ち、前回議事録の確認が行われ、承認された。
議事録署名人として岩見良太郎氏、合田寛氏が選任された。

IV 報告事項



1. 事業

(1) 公益目的事業

① 刊行物について



- ・山口理事長より、編集途中のものもあるので、経過も含めて報告して欲しい旨が述べられた。



- ・齋藤理事より、12月発行の『政経研究』第101号の編集が順調にすすんでいることが報告され、掲載原稿についての概略が説明された。また、当法人は研究所なので、できる限り調査レポートも載せていきたい旨が述べられた。



- ・北村理事より、『政経研究時報』について、前回報告した執筆ラインナップですすめている。12月には発行したい旨が説明された。

- ・山口理事長より、従来、リサーチペーパーの編集はどこが担当していたかという質問がなされた。

- ・事務局より、編集体制としては決まっていないが、研究委員会並びに研究担当理事が担当していた旨が説明された。

- ・岩見理事より、科研費のチームで3月頃にリサーチペーパーをだしたいという意見があることが説明された。

- ・金光理事より、『中小企業問題』2014年1月号の構想が説明された。

- ・山口理事長より、企画出版については小宮前理事から説明を受けてきたが、今は誰から聞けば良いのかという質問がなされた。

- ・事務局より、合田理事が関わっているので合田理事から報告してもらいたい旨が説明された。

- ・合田理事より、岩波書店が出版については前向きで、作業は最後の段階である。来年早々には出版できるのではないかという説明がなされた。
 - ・事務局より、確認事項として『政経研究』の「経」の字は旧字で良いのかどうか判断して欲しい旨が述べられた。
 - ・齊藤理事より、伝統を重んじたいので旧字を使いたい旨が述べられた。
 - ・鶴田監事より、書名や人名は固有なものである旨が指摘された。
 - ・山口理事長より、活字がなくなったら困るが、旧字でいきたい旨が述べられた。
- ②各研究室・研究会・プロジェクト及び各研究員の研究活動状況
- ・合田理事より、現代経済研究室で研究会を開催したことが報告された。
 - ・北村理事より、大島慶一郎関係文書の目録「I」ができた。これを機にふじみ野市との協力でシンポジウムや研究会等を開催してみたい旨が報告された。
- ③その他の公益目的事業
- ・事務局より、まだ報告できる段階にはないが、東亜研究所や政経研の初期の資料をデジタル化する作業をはじめていることが報告された。

(2) 戦災資料センターの運営状況

山辺理事が欠席のため事務局より、来館者・維持会費・維持募金・協力費・資料の寄贈と提供・研究活動の状況等が説明された。

法人の業務管理

①会員の状況

- ・事務局より、入金がなく資料はない旨が説明された。
- ・山口理事長より、会員の状況については次回報告したい旨が述べられた。

②ウェブサイト問題

- ・事務局より、HP については齊藤理事が理事会の中で指摘してきたことがもっともだと思ふ。メール等コミュニケーションをとる手段はあるが、担当者との距離が理的にも遠すぎるように思ふ。事務局からも材料を送り込み、担当者と頻りに相談し、距離を縮める努力をしたい。また、会員規程、寄付金取扱規程の改正にともない、会員や寄付金の募集をウェブサイト上で行いたい旨が述べられた。

V 審議事項

議題1 受託事業について

①さいたま市受託事業について

- ・山口理事長より受託する経緯の概略が説明された。
- ・事務局より、キチッとした受託規程等を作り、受託事業の受け方をルール化した方が良くして新たに作成した規程が提示された。
- ・勝又理事より、ごく普通にまともな受託事業のやり方をすれば規程などなくても大丈夫だという旨が述べられた。
- ・事務局より、公益法人化の申請で調査事業は、認定がかなり困難であったが、公益目的事業で認定されており、事業の性格を明確にするためにも規程のようなものがあった方が良くとの判断で作成したことが説明された。
- ・山口理事長より、研究所の設備等を使う費用も馬鹿にならない旨が述べられた。
- ・鶴田監事より、科学研究費の間接費に当たる部分があつてよいわけで、科研費は 30 %

だが15%くらいが妥当である旨が述べられた。

- ・北村理事より、明細書や仕様書などの作り方について説明がなされた。
 - ・事務局より、今回は2002年に作られた規程を適用し、それを改正する形で次回から新しい規定を適用してよりルールを明確化の方が良い旨が述べられた。
- 北村理事より、とにかく金の管理だけはキチッとしないと委託者も困ることになる旨が説明された。
- ・山口理事長より、会計学でいうところの総額主義の原則で研究所のシステムを作るということにしたい旨が述べられた。

②千葉商大からの受託事業について

- ・齊藤理事より、千葉商大の経済研究所で雑誌を作ることになっていて、その制作を委託したい旨が説明された。

山口理事長より、収益事業としてやるしかないのではないかと考えるが、その際に問題になるような箇所はあるかという質問がなされた。

- ・事務局より、受託事業は調査研究事業ということで公益目的事業として認定を受けている。出版・印刷事業は今のままでは収益事業等としてやるしかないが、認定法上合理的な目的さえつけば公益目的事業として展開できる。

- ・山口理事長より、そのことを説明して欲しい旨が述べられた。
- ・事務局より、事業は公益目的事業が先に決まってそれ以外は収益事業等ということになる。収益事業等は収益事業とその他の事業に区分され、その他の事業に役員や会員、使用人等の互助事業、すなわち共益事業が入る。収益事業は法人税法上の規程より範囲が広い。旧制度では公益目的事業であっても法人税法上の収益事業に該当してしまえば課税の対象だが、新制度では法人税法上の収益事業に該当しても認定法によって合理的な理由があれば認定法上公益目的事業に認定される可能性があり、認定されれば課税の対象から外れる。新旧制度の決定的な違いと考えられる。ただし、認定法によって新規事業も含め、事業の内容変更(一部変更も含む)は、場合によっては公益目的支出計画等の変更も必要になり、変更認定届をださなければならない。しかもこの事業には何故か収益事業等も含められている。ですから戦災資料センターの出版事業の話も慎重にと指摘したことが説明された。

- ・鶴田監事より、センターの出版事業は公益目的事業でいけるのではないかと指摘がなされた。

- ・山口理事長より、大きな事業の変更ではないので、ちょっとしたものは収益事業でやって良いのではないかと、制度上難しい手続きがあるが、難しい手続きをしなくて良い方向でやっていくことにしたい旨が述べられた。

議題2 公開研究会について

- ・山口理事長より、11月28日に明治大学研究棟4階第1会議室で、齊藤理事を講師として、「日本国債と信認・信用」をテーマとして実施することが説明された。

議題3 収益事業等のあり方について

- ・勝又理事より、これまでの空き室や管理の状況、事務局側の態勢も含め大手業者への管理委託の方が良い旨が述べられた。
- ・金光理事より、三浦氏へも説明して欲しい旨が述べられた。
- ・山口理事長より、三浦氏を交えて会議をすることになっていることが説明された。



- ・勝又理事より、これまでこの問題は何とかしなくちゃいいながら絶えず先送りにされてきた。もはや限界であることが述べられた。
- ・鶴田監事より、管理組合との関係はどうかという質問がなされた。
- ・勝又理事より、業者とのこれからの相談ではあるが、共有部分とは別に考えている旨が説明された。
- ・鶴田監事より、これまでのやり方ができなくなったわけだから新しいやり方にしなければならぬ旨が述べられた。
- ・山口理事長より、色々難しいところもあるがもう少し研究してやっていきたい旨が述べられた。



議題4 研究員交流会について

- ・山口理事長より、12月頃どうかと考えている。
- ・事務局より、12月というのは時間的に無理である旨が述べられた。
- ・山口理事長より、今日は時間がないので次回決定したい旨が述べられた。

議題5 研究委員会について



- ・岩見理事より、研究事業の法人内でのこれまでの役割担当が確認、検討され、①担当者がはっきりしない部門がる、②担当者が決まっても個人ではなく組織的な対応が必要な部門で対応組織ができていない、③それぞれの部門を有機的に関連づけて戦略を練る担当が必要である。以上の3点が指摘された上で、研究委員会的なものは必要であり、現在の研究委員会に代わるものを作りたい、それが認められた場合、現在の研究小委員会+αで新しい研究委員会の目的や構成を検討したい。この2点が提案された。
- ・山口理事長より、研究委員会に代わる新しい組織を作ることは良い、また理事以外からも入れると良いと思う旨が述べられた。



上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長並びに議事録署名人および出席監事は押印する。



2013年
公益財団法人政治経済研究所

議長 山口 孝

署名人 岩見良太郎

合田 寛

出席監事 河野 先

鶴田満彦

2013 年度第 7 回理事会議事録

2013 年 11 月 21 日

公益財団法人政治経済研究所

1. 日時 2013年11月21日 17時～19時
 2. 場所 公益財団法人政治経済研究所 1F 会議室
住所 東京都江東区北砂1-5-4)
 3. 出席者 理事：山口孝 岩見良太郎 勝又信夫 金光奎 北村浩 合田寛 齊藤壽彦
山辺昌彦 渡辺新
(理事9名中9名出席)
- 監事：河野先 鶴田満彦 (2名中2名出席)

I. 開会

- ・事務局より、理事9名中9名が出席し、定足数を満たしたことが確認され、開会が宣言されたのちに資料の説明が行われた。

II. 代表理事・理事長挨拶

- ・山口理事長より、挨拶が行われた。
- ・定款第40条及び理事会運営規則第6条により、代表理事である山口孝理事長を議長として次の議案について逐次審議した。

III. 議事録署名人の選任と前回議事録の確認

- ・審議に先立ち、前回議事録の確認が行われ、承認された。
- ・議事録署名人として勝又信夫氏、山辺昌彦氏が選任された。

IV 報告事項

1. 事業

(1) 公益目的事業

① 刊行物について

- ・山口理事長より、リサーチペーパーについての担当について確認が行われた。
 - ・岩見理事より、研究委員会で編集することになっていることが説明された。
 - ・金光理事より、『中小企業問題』141号を編集中であることが説明された。
 - ・北村理事より、次号の『政経研究時報』の編集が進み、原稿も届き始めていることが説明された。
 - ・齊藤理事より『政経研究』の編集状況が説明された。
- ##### ② 各研究室・研究会・プロジェクト及び各研究員の研究活動状況
- ・山口理事長より、2013年11月28日に会場を明治大学として「日本国債と信託・信用」というテーマで齊藤壽彦氏を講師として行うことが説明された。
 - ・岩見理事より、各研究室や研究会の動向を把握するシステムを検討中であることが説明された。

- ・北村理事より、ふじみ野市へ行き、大島慶一郎関係文書目録作成へのお礼と今後について相談してきたことが説明された。

(2) 戦災資料センターの運営状況

- ・山辺理事より、来館者・維持会費・維持募金・協力費・資料の寄贈と提供・研究活動の状況等が説明された。また、業務執行理事としての業務執行報告もなされ承認された。

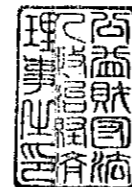
2. 法人の業務管理

① 会員の状況

- ・事務局より、入金がなく資料はない旨が説明された。
- ・山口理事長より、会員の状況については次回報告したい旨が述べられた。

② ウェブサイト問題

- ・事務局より、HPについては齊藤理事が理事会の中で指摘してきたことがもっともだと思ふ。メール等で担当者とのコミュニケーションをとる手段はあるが、担当者との距離が物理的にも遠すぎるように思ふ。事務局からも材料を送り込み、担当者との頻りに相談し、距離を縮める努力をしたい。また、会員規程、寄付金取扱規程の改正にともない、会員や寄付金の募集をウェブサイト上で行いたい旨が述べられた。



V 審議事項

議題1 受託事業について

① さいたま市受託事業について

- ・山口理事長より受託する経緯の概略が説明された。
- ・事務局より、キチッとした受託規程等を作り、受託事業の受け方をルール化した方が良いとして新たに作成した規程が提示された。
- ・勝又理事より、ごく普通にまともな受託事業のやり方をすれば規程などなくても大丈夫だという旨が述べられた。
- ・事務局より、公益法人化の申請で調査事業は、認定がかなり困難であったが、公益目的事業で申請してあり、事業の性格を明確にするためにも規程のようなもので事業の性格を明記するものがあつた方が良いとの判断で作成したことが説明された。
- ・山口理事長より、研究所の設備等を使う費用も馬鹿にならない旨が述べられた。
- ・鶴田監事より、科学研究費の間接費に当たる部分があつてよいわけで、科研費は30%だが15%くらいが妥当である旨が述べられた。
- ・北村理事より、明細書や仕様書などの作り方について説明がなされた。
- ・事務局より、今回は2002年に作られた規程を適用し、それを改正する形で次回から新しい規定を適用してよりルールを明確化の方が良い旨が述べられた。
- ・北村理事より、とにかく金の管理だけはキチッとしないと委託者も困ることになる旨が述べられた。
- ・山口理事長より、会計学でいうところの総額主義で研究所のシステムを作るといふことにしたい旨が述べられた。

②千葉商大からの受託事業について

- ・齊藤理事より、千葉商大の経済研究所で雑誌を作ることになっていて、その制作を委託したい旨が説明された。
- ・山口理事長より、法人運営にとって良い話なので検討したい旨が述べられた。

議題2 公開研究会について

- ・山口理事長より、先程説明したように11月28日に「日本国債と信託・信用」で齊藤壽彦氏（千葉商科大学／政治経済研究所理事）に講師をお願いしていることが述べられた。

議題3 研究委員会について

- ・岩見理事より、研究委員会の位置づけ、活動の方向性が示され、了承された。

議題4 収益事業等のあり方について

- ・事務局より、現在の空き室状況等の説明がなされた。
- ・勝又理事より、賃貸マンションの管理運営方法と、管理を委託する業者の説明がなされた。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長並びに議事録署名人および出席監事は押印する。

2013年11月21日

公益財団法人政治経済研究所

議長 山口孝

署名人 勝又信夫

山辺昌彦

出席監事 河野先

鶴田満彦

2013 年度第 8 回理事会議事録

2014 年 1 月 15 日
公益財団法人政治経済研究所

1. 日時 2014年1月15日 16時～18時
2. 場所 公益財団法人政治経済研究所 1F 会議室
3. 住所 東京都江東区北砂1-5-4)
4. 出席者 理事：山口孝 勝又信夫 金光奎 北村浩 合田寛 齊藤壽彦 山辺昌彦
渡辺新
(理事9名中8名出席1名欠席)
監事：河野先 鶴田満彦 (2名中2名出席)

I. 開会

- ・事務局より、理事9名中8名が出席し、定足数を満たしたことが確認され、開会が宣言された後に資料の説明が行われた。

II. 代表理事・理事長挨拶。

- ・山口理事長より、挨拶が行われた。
- ・定款第40条及び理事会運営規則第6条により、代表理事である山口孝理事長を議長として次の議案について逐次審議した。

III 議事録署名人の選任と前回議事録の確認

- ・議事録署名人として金光奎氏、渡辺新氏が選任された。
- ・事務局より、前回議事録に関しては作成が間に合っていないことが説明された。

IV 報告事項

1. 事業

(1)公益目的事業

①刊行物について

- ・北村理事より、『政経研究時報』について原稿が十分集まっていないが今年度中に2号は出したいと考えている旨が説明された。
- ・金光理事より、141号が編集中であることが説明された。
- ・山口理事長より、リサーチペーパーについての担当について確認が行われた。
- ・合田理事より、企画出版の進捗状況が説明された。
- ・齊藤理事より、『政経研究』102号が編集中であることが説明された。

②各研究室・研究会・プロジェクト及び各研究員の研究活動状況

- ・合田理事より、現代経済研究室の例会ならびに科研費グループの調査の様子が報告された。

③戦災資料センターの運営状況

- ・山辺理事より、来館者・維持会費・維持募金・協力費・資料の寄贈と提供・研究活動

の状況、等が説明された。また、業務執行報告もなされ承認された。

(2)法人の業務管理

①会員の状況

- ・山口理事長より、会員の状況については次回報告したい旨が述べられた。

III 審議事項

議題1 2014年度事業計画ならびに予算編成方針について

- ・事務局より、事業計画書ならびに予算書作成のスケジュールが説明し、了承された。

議題2 研究委員会の活動について

- ・事務局より、欠席の岩見理事に代わって説明がなされ、事業計画の参考となる研究事業を研究委員会で検討したい旨が述べられ了承された。
- ・鶴田監事より、諮問委員会のあり方が説明された。
- ・山口理事長より、研究委員会へ来年度の研究事業のあり方の検討を諮問するので、答申を提出するよう命じられた。

議題3 公開研究会について

- ・合田理事より、1月29日に野中郁江氏らによる公開研究会を開催することが決定している旨が説明された。

議題4 収益事業について

- ・勝又理事より、従来の不動産屋との関係、三井への新規委託の状況が説明された。
- ・事務局より、目白台芙蓉ハイツの状況が説明された。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長並びに議事録署名人および出席監事は押印する。

2014年1月15日

公益財団法人政治経済研究所

議長 山口孝

署名人 金光奎

渡辺新

出席監事 河野先

鶴田満彦



2013 年度第 9 回理事会議事録

2014 年 2 月 26 日

公益財団法人政治経済研究所

1. 日 時 2014年2月26日 14時から16時
2. 場 所 公益財団法人政治経済研究所 1F 会議室
3. 場 所 東京都江東区北砂1-5-4
4. 出席者 理事：山口孝 岩見良太郎 勝又信夫 金光奎 北村浩 合田寛 山辺昌彦
渡辺新（理事9名中8名出席 1名欠席）
監事：河野先 鶴田満彦（監事2名中2名出席）

I 開会・事務局説明

- ・事務局より、理事9名中8名が出席し定足数を満たしたことが確認され、開会が告げられたのち配付資料の説明が行われた。

II 代表理事・理事長挨拶

- ・定款第40条、理事会運営規則第6条の規定により、代表理事である山口孝理事長を議長として逐次審議した。
- ・最初に山口理事長より、小谷崇氏逝去についての報告がなされたのち、開会の挨拶が行われた。

III 前回議事録の確認と議事録署名人の選任

- ・事務局より、議事録確認が1回遅れになっており、本日は第7回議事録の確認である旨が説明された。
- ・第7回議事録は一部修正を加えることで承認された。
- ・本日議事録署名人として、岩見良太郎、合田寛の両氏が選任された。

IV 報告事項

1. 公益目的事業

(1) 刊行物について

① 『政経研究』

- ・齊藤理事（編集委員長）が欠席のため、事務局佐藤亮治氏により、第102号の編集状況が説明された。

② 『政経研究時報』

- ・北村理事より、年度内2号発刊する予定で2号分平行して編集していることが説明された。

③ リサーチペーパー

- ・北村理事より、新たな執筆申し込みの動きはないとの説明がなされた。

④ 『中小企業問題』

- ・金光理事より、次号の構想が説明された。

⑤ 企画出版

- ・事務局より、現在すすめているマディソンの翻訳本の作業の状況が説明された。
- ##### (2) 各研究室・研究会・プロジェクト及び各研究員の研究状況
- ・山口理事長より、各研究員が岩見研究担当事事に報告するようにならなければならない旨が述べられた。
 - ・岩見理事より、動向が充分把握できていないが、研究委員会で把握するためのシステムづくりをやることになっていることが説明された。
 - ・北村理事より、大島社文研の動向として、大島慶一朗家文書を利用した社会的還元事業についてのふじみ野市の郷土博物館との関係、定例研究会の開催方法等の説明がなされた。
- ##### (3) 受託研究調査事業
- ・岩見理事より、事業内容についての説明がなされ、1月に中間報告会が開催されたことが報告された。
- ##### (4) 公開研究会
- ・合田理事より、1月29日に開催した研究会の状況が報告されたのち、公開研究会を社会的な影響力のあるものにしたい旨が述べられた。
- ##### (5) 戦災資料センターの運営状況
- ・山辺理事より、公益目的事業の進捗状況と入館者、募金等の運営状況について説明がなされた。
- #### 2. 法人の業務管理
- ##### (1) 会員・寄付・財務状況報告
- ・山口理事長より、会員状況ならびに財務状況についての説明がなされた。

V 審議事項

議題1 2014年度事業計画書ならびに予算書について

- ・事務局より、2014年度事業計画書の内容が説明された。
- ・討議の結果、文章表現等一部修正を条件として全会一致で承認可決された。
- ・勝又理事より、予算書の説明がなされ、全会一致で承認可決された。
- ・山口理事長より、事業計画書も予算書も法定文書であり、評議員会前2週間の開示が法定事項として義務づけられているので直ちに開示するよう事務局へ命じられた。

議題2 研究委員会の活動について

- ・岩見理事より、研究委員会作成の「研究所活動の活性化に向けて」の内容説明があり、理事会へ提出された。
- ・山口理事長より、今後の研究活動の参考にしたい旨が述べられた。
- ・岩見理事より、相田利雄氏を研究委員に加えたいことが提案された。
- ・討議の結果全会一致で承認された。
- ・岩見理事より、理事会から研究委員会へ諮問された村上綱実氏の研究員採用について研

究委員会で審議し、主任研究員として採用すべきであるとの結果になったことが答申された。

- ・研究委員会からの答申を受け討議した結果、全会一致で村上氏の主任研究員採用を承認可決した。
- ・事務局より、就任時期はいつになるかとの確認がなされた。
- ・山口理事長より、本日採用決定、就任は4月1日付という説明がなされた。

議題3 業務執行報告(代表理事・業務執行理事)

- ・渡辺業務執行理事ならびに山口理事長(代表理事)より、法定事項の業務執行報告がなされた。
- ・討議の結果、全会一致で業務執行が正しく行われたことが承認された。

議題4 収益事業について

- ・勝又理事より、賃貸経営の状況が説明され、目白台芙蓉ハイツの空き室が1室埋まったことが報告された。
- ・事務局より、チサンマンションの空き室はリフォームに近い原状回復が必要であることが報告された。
- ・鶴田監事より、修繕費に多くの費用を要するようだが、公益目的事業費率とか認定法上の問題はクリアできるかとの質問がなされた。
- ・勝又理事より、資本的支出として扱うことによってクリアできるという説明がなされた。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人および出席監事は押印する。

2014年2月26日

公益財団法人政治経済研究所

議長 山口 孝

署名人 岩見良太郎

合田 寛

出席監事

河野 先

鶴田 満彦



2013 年度第 10 回理事会議事録

2014 年 3 月 14 日

公益財団法人政治経済研究所

1. 日時 2014年3月14日 12時30分～13時30分
2. 場所 公益財団法人政治経済研究所 1F 会議室
3. 住所 東京都江東区北砂 1-5-4
4. 出席者 理事：山口孝 岩見良太郎 勝又信夫 金光奎 北村浩 合田寛 齋藤壽彦
山辺昌彦 渡辺新（理事9名中9名出席）
監事：鶴田満彦（2名中1名出席）

I. 開会

- ・事務局より、理事9名中9名が出席し、定足数を満たしたことが確認され、開会が宣言された。

II. 代表理事・理事長挨拶

- ・山口理事長より、挨拶が行われた。
- ・定款第40条及び理事会運営規則第6条により、代表理事である山口孝理事長を議長として次の議案について逐次審議した。

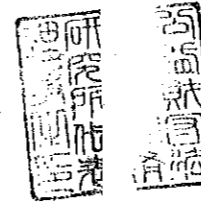
議題1. 評議員会進行について

- ・山口理事長より、本日の会議は評議員会進行についての打ち合わせが中心である旨が説明された。
- ・事務局より、評議員会での役割分担が説明され了承された。

議題2. 今後の予定について

- ・事務局より、2013年度事業報告書ならびに2013年度決算書作成についてとそれにもなう監事監査ならびに4月理事会、6月評議員会について説明された。
- ・討議の結果、評議員会の6月16日昼開催を第一候補として、監事監査、理事会の準備をすすめていくことが決定された。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長並びに議事録署名人および出席監事は押印する。



2014年3月14日
公益財団法人政治経済研究所
議長 山口孝
署名人 勝又信夫
北村浩
出席監事 鶴田満彦

